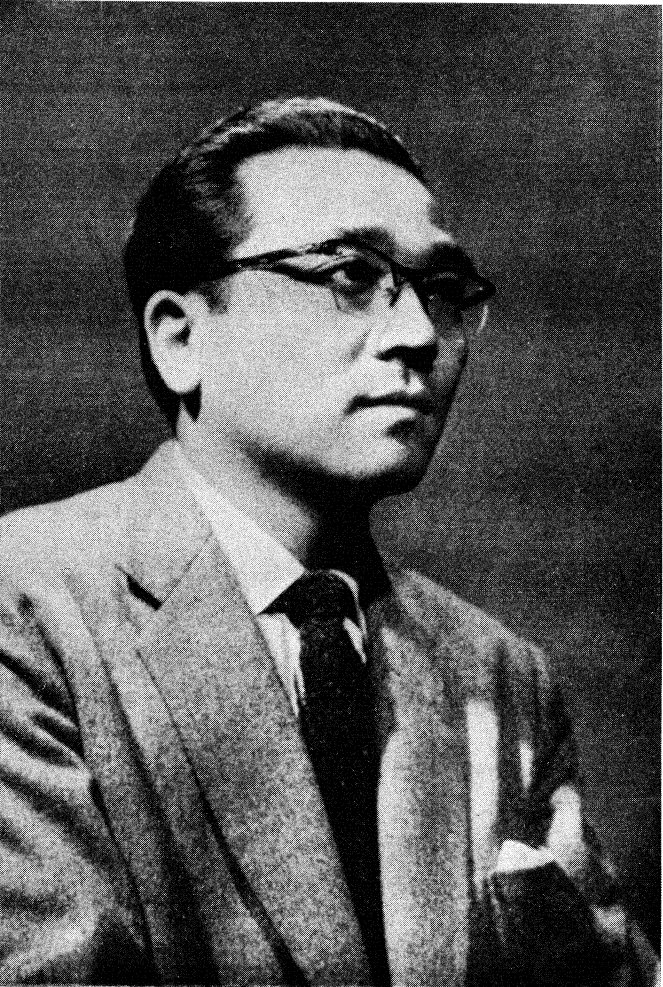


## 戸田 政子

昭和20年東京音楽学校卒業、昭和22年毎日音楽コンクール入賞、昭和28年「カルメン」のミカエラでデビュー「ヘンゼルとグレーテル」「セビラの理髪師」「ラボエーム」「リゴレット」「マノン」等の主役を演じ、藤原歌劇団第2次渡米公演に参加し、砂原美智子、山口和子と伍して「お蝶夫人」の主役を演じた。又昭和31年第3次渡米では全米、及びカナダで「お蝶夫人」の主役を演じ好評を博し、ニューヨークC・B・Sテレビ、エド、サリヴァンショーに主演。最近イタリー放送局の依頼でブッチーニ生誕百年祭記念に、ブッチーニ役者、プリマドンナの声の世界から送られているが日本からは戸田政子さんの「お蝶夫人」が選ばれ送られた。労音各地の例会では「お蝶夫人」「夕鶴」の主役として活躍され好評。



## 宮本 正

数少ないわが国のテノール界に於て昨今めきめきと売出して来たオペラ界のホープ。

昨年中丈でも（昭和卅一年）カルメンのドン・ホセ、椿姫のアルフレッド、カヴァレリア・ルスチカーナのトゥリドウ等主要オペラに連続主演し絶賛をうけている。

世界的テノール、フェルチオのタリアビーニ来日の折にはラ・ボエーム・ウエルテル等の公演に協演し一方NHKの放送、テレビ等を通じ主役テノールとして屢出演、楽壇の期待と注目をになっている。

そのリリックな美声は稀にみるもので甘美なイタリヤのベルカント唱法を完全に身につけ聴衆を魅了する。